

# 巻頭言

## 昇降機・ビルシステム特集に寄せて

Foreword to Special Issue on Elevators, Escalators and Building Systems



有川 真明 Masaaki Arikawa

三菱電機ビルソリューションズ(株) 執行役員 稲沢ビルシステム製作所長

Corporate Executive, Senior General Manager, Inazawa Building Systems Works, Mitsubishi Electric Building Solutions Corporation

ウクライナ情勢をはじめとした世界的な政情不安に加えて、資材価格や人件費の高騰、少子高齢化による人手不足、エネルギー問題など、社会情勢を取り巻く環境はますます大きく、早く変化しています。こうした環境下で、三菱電機ビルソリューションズ(株)(MEBS)は、“安全”に“安心”して“快適”に利用できる製品・サービスを通じて、多様化する社会課題や顧客のニーズに応えるソリューションを提供し、健全な社会の発展に貢献しています。

少子高齢化やビルの大型化、高層化に伴い、ビル管理業界では警備や清掃の労働力不足が課題となっており、省人化のためのロボットの活用が加速しています。今後ロボットの業務拡大や導入台数の増加が見込まれる中、ロボットが効率的に移動できる環境の整備が必要になっています。MEBSは、スマートシティ・ビルIoT(Internet of Things)プラットフォーム“Ville-feuille”(ヴィルフィーユ)の機能を拡充することで、エレベーターを利用したロボットの縦移動に加えて、ロボットの効率的かつ安全なフロア内の平面移動を実現し、複数メーカー・複数台のロボットの一元的な統合監視によってロボット管理業務の省力化に貢献しています。

省エネルギーの観点では、ZEB(net Zero Energy Building)の需要が高まっています。MEBSはZEBプランナーとして空調・換気・照明・給湯・BEMS(Building Energy Management System)の設計・施工を一手に担っており、ビル全体の設備計画の提案を行っています。持続可能な建築として注目されている木造建築物でも、木造特有の課題を各種設備の設計・施工の工夫によって解決し、ZEB化を達成するなど、ZEB推進の取組みによって環境負荷の低減や持続可能な社会の実現に貢献しています。

昇降機のデザインでは、建築空間に調和するプロダクトデザインと快適なビル内移動を実現するUI(User Interface)／UX(User Experience)デザインを推進しています。新たに開発したエレベーターの乗場ボタンはステンレス薄板の絞り加工で突出感を軽減し、“先進性”と“堅牢(けんろう)性”を両立させたデザインとして、ホールランタンはピクトグラムを建築壁面にプロジェクション投影する新方式を採用することで多様な顧客ニーズに対応したデザインのカスタマイズを可能にしました。

保守サービス事業では、グローバル保守基盤システム“M's BRIDGE”(エムズブリッジ)によって世界各国に納入した昇降機の運行状況を24時間365日監視しています。遠隔で故障検知・解析を行い、故障発生時の早期復旧を実現するとともに、遠隔点検データを活用して高品質で効率的な保守サービスを提供してきました。それに加えて、昇降機の保守状況や稼働状況をスマートフォンから簡単に確認できるサービスを開発し、ビルオーナーや管理者に提供することで、安全・安心の更なる向上に貢献しています。

リニューアル事業では、稼働年数が高い昇降機が多くなり、需要も高まっています。MEBSが1997年から出荷開始した4人乗り小形エレベーター“MELWIDE”(メルワイド)もリニューアル対象時期を迎えており、耐震性能向上や戸開走行保護装置の付加といった市場要求機能を備えたリニューアル機種を開発・整備することで、安全・安心と利便性の向上に貢献しています。

今後も社会環境や市場・顧客ニーズの変化を捉えて、快適で安全・安心なビル空間を創造するソリューションプロバイダとして新たな価値を創出しながら製品・サービスを提供することで、社会課題の解決に貢献していきます。